



みんなの回生

題字揮毫
元県知事・前川忠夫



- 胃がんに対する内視鏡治療 2~3
ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）について
- 当院をご利用いただく皆様にご協力をお願い 4
- はじめまして 5~7
- 受診される方へ お知らせ 8

回生病院理念

皆さまに愛され信頼される病院を目指します

回生病院基本方針

- 一、私たちは質の高い医療を提供します
- 一、私たちは保健・医療・福祉と連携を図ります
- 一、私たちは予防医療の充実に努めます

患者さまの権利と責務

- 一、患者さまには、最善で公平な医療を受ける権利があります
- 一、患者さまには、医療内容について十分な説明と情報を受ける権利があります
- 一、患者さまには、医療行為について選択・同意・拒否する権利があります
- 一、患者さまには、個人情報を保護される権利があります
- 一、患者さまには、自らの健康に関する情報を提供する責務があります
- 一、患者さまには、病院の規則を守る責務があります

2020年
293号



社会医療法人財団 大樹会 総合病院 回生病院
坂出市室町三丁目5番28号
回生病院ホームページ <http://www.kaisei.or.jp/>

☎0877 (46) 1011 (代)
夜間の受付も行っています。



胃がんに対する内視鏡治療 ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）について

消化器センター 係長 香川 雄亮

近年、健康志向や健診、内視鏡検査の普及により早期胃がんが増えてきています。がんの治療法は内視鏡治療、外科手術、放射線療法、抗がん剤療法など様々で、がんの進行度や患者さんの状態によって治療法が選択されます。内視鏡治療の適応について細かい条件は今回割愛しますが、リンパ節に転移している可能性が極めて低い早期胃がんの場合は内視鏡治療が選択肢の一つとなります。

内視鏡を使った消化管癌の治療方法は大きく分けて2つあります。1つはスネアと呼ばれる金属の輪を病変部に引っ掛け、高周波電流を流して切り取る方法で、**EMR（内視鏡的粘膜切除術）**と呼ばれます。もう一つは様々な種類のナイフを使って胃の表面を切り剥がしていく方法で、**ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）**と呼ばれます。EMRはスネアの大きさまでの早期胃がんが対象で、しばしば病変を分割して切除しなくてはならないことがあります。しかしESDは大きさに制限はなく、病変をひとかたまりで切除することが可能です。切除した病変は最終的に顕微鏡による検査で確認します。これを病理検査といいます。病理検査をより正確に行うためにはひとかたまりで切除することが必要です。病理検査で治療前の予測よりも進行していることが判明した場合は追加治療が必要となります。以前は手技が簡便なためEMRが多く行われていましたが、近年はより確実にひとかたまりで切除できるESDが普及してきております。

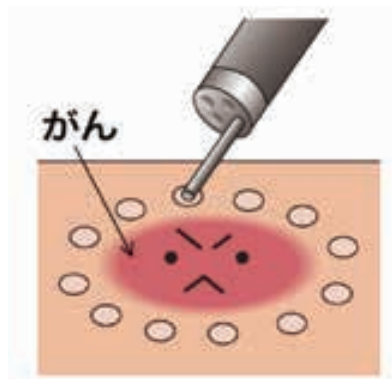
ESDに用いる器具の一例を図1に示しています。先端の形状がさまざま、状況に応じて適切な器具を使用します。

(図1)



具体的には図2に示すように1.マーキング、2.局注、3.切開、4.粘膜下層剥離、5.切除完了、6.止血といった手順で進め、最後に前述した病理検査を行います。

(図2)



1. マーキング

病変の周りに切り取る範囲の目印を付けていきます。



2. 局注

粘膜下層に薬剤を注入して浮かせた状態にします。



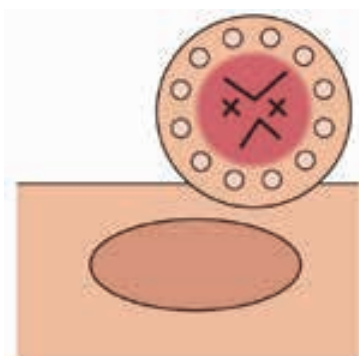
3. 切開

マーキングを取り囲むようにナイフで病変周囲の粘膜を切開します。



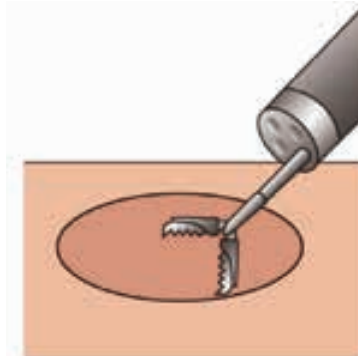
4. 粘膜下層剥離

ナイフで病変を少しずつ剥ぎ取っていきます。



5. 切除完了

ナイフを使って最後まで剥離、もしくはスネアをかけて切除します。



6. 止血

切除後の胃の表面に止血処置をします。切除した病変は回収し病理検査に出します。

当院では2019年、胃がんに対してESDを約10件施行しています。どの症例も問題となるような合併症を起こすことなく処置を完遂しております。健診など積極的に受けてお腹を切らずに胃がんを治しましょう。ご不明な点などあればお気軽に消化器センターにお越しください。

協力：四国医療器株式会社、OLYMPUS

当院をご利用いただく皆様にご協力をお願い

名前の確認



病院には、毎日多くの方が、治療等のために来院されます。

いつも利用している、お互いに知っている、予約をしている、など「名前を毎回言わなくてもわかるだろう」と思うかもしれませんが。

しかし、当院や当院以外の医療機関でも違う方に検査をした、説明をした、書類を渡したなど報告されています。

職員が名前や書類等確認するのはもちろんのこと、患者さんやご家族にも職員と一緒に、名前や書類等確認していただき、患者間違いを防止するためのご協力をお願いします。

敷地内禁煙



NO SMOKING

電子タバコもご遠慮ください。

病院敷地内全面禁煙について

回生病院は

「敷地内全面禁煙」（電子タバコを含む）となっております。

患者さんをはじめ来院される皆様には、この主旨をご理解のうえでご協力下さいますようよろしくお願い致します。

なお、ご協力いただけない場合は、退院（退去）いただく場合がありますのでご了承下さい。



社会医療法人財団大樹会 総合病院回生病院 病院長

2019年7月1日から、「健康増進法」において、「学校・病院・児童福祉施設等・行政機関の庁舎等」では敷地内が禁煙となっております。

最近では新しいタイプのタバコ（非燃焼・加熱式タバコや電子タバコなど）を利用されている方もおられると思います。

新しいタイプのタバコの健康リスクについては様々な情報があるようですが、当院は従来のタイプ・新しいタイプのいずれのタバコも敷地内禁煙としております。ご理解、ご協力をお願いいたします。

また、当院では、禁煙外来を設けておりますので、禁煙を検討される方はぜひ、ご利用ください。

ご意見箱の内容は、院内掲示にてお知らせいたします。

今後とも、お気づきになったことや当院を利用してのご意見を備え付けの用紙にご記入の上、「ご意見箱」に投函してください。

安全管理センター 医療安全対策室

はじめまして



総合健診センター(婦人科)
大野 義雄

4月から回生病院の総合健診センター(婦人科)で勤務させていただくことになりました大野です。

1988年から2001年まで回生病院の産婦人科で勤務しておりました。その後高松市立みんなの病院産婦人科で勤務したのち、この度ご縁があつて回生病院に帰ってまいりました。

総合健診センターでは婦人科の健診を担当させていただきます。子宮頸がんは、性交渉によるヒトパピローマウイルス感染によって起こります。ヒトパピローマワクチンによる子宮頸がん予防が可能ですが、日本ではワクチンはまだ十分広まっています。日本では子宮頸がんは20〜39歳の若い世代で急増しており、年間約10000人が罹患し、約3000人が死亡しております。子宮頸がん検診率は日本ではまだ約30%程度でOECD加盟国では最低レベルです。子宮頸がんも他のがんと同じように早期発見早期治療で治療できます。若い世代を含めた子宮頸がん検診の重要性も広めていきたいと思っております。ごごぞよろしくお願ひいたします。



内科部長
(総合内科・循環器内科)
福田 修久

4月より内科で診療をさせていただくことになりました福田修久と申します。2005年に大阪医科大学を卒業し、いつのまにか医師としては16年目になっていました。得意な分野は循環器・感染症・栄養・廃用リハビリテーションです。

回生病院ではカテーテル治療などのインターベンションを含めた循環器を中心に仕事をいたしますが、循環器疾患を抱える患者様は循環器疾患以外の疾患も有していることが大多数です。今までに内科全般の経験がありますので、「循環器疾患とその周辺」で多くの患者様に貢献できればと考えております。

「予防に勝る治療はない」をモットーに、健康寿命を意識した診療を心がけています。患者様ご自身やご家族様の病気だけでなく健康についての悩みに対しても積極的に取り組みますので、気軽に受診・相談していただけますと幸いです。

私は兵庫県西宮市出身で坂出は慣れない土地ではありますが、常に知識と経験を深め続けて診療を世界最先端の考え方で実践し地域に貢献できればと考えております。皆様、よろしくお願ひいたします。



内科課長(総合診療科)
西信 俊宏

2020年4月より回生病院に入職致します西信俊宏(にし のぶ としひろ)と申します。今年度より新たに設立された総合診療科にて勤務致します。少しでもこの坂出市、中讃地区の地域医療に貢献出来る様に誠心誠意務めさせていただきます。皆様1人1人の様な症状も診察致します。迷った場合はどうぞお気軽に受診をし、お話を聞かせて下さい。共に困難を乗り越えられる様に診療をさせていただきます。

私の略歴をお話させていただきます。少しでも皆様の身近な存在となれば幸いです。私は愛媛県に生まれ、岡山県で勉学とラグビーを中心に充実した学生時代を過ごしました。そしてご縁があり回生病院で医師としてのキャリアをスタートさせ、この中讃地区の救急医療の中心をなす救急部で日々救急医療に従事して参りました。その後はより見聞を広げるために、総合診療の名門である獨協医科大学病院総合診療科に入職致しました。そこでは総合診療科の若きリーダーである志水太郎医師を中心とし、高齢化・多様化した健康問題を抱える地域の皆様の健康を包括的、俯瞰的に専門的ケアをする事を学びました。その学びの場は外来、病棟、救急外来と多岐にわたっており、それぞれフィールドで獨協医科大学総合診療科の特徴であるDiagnostic Medicine(診断医学)、医学教育についてのエッセンスを学んで参りました。そして、今年度より私を育てて

くれたこの地域に恩返しをするために回生病院に帰ってまいりました。若輩者ではありませんが受診した方々の笑顔を1人でも多くみられる様に日々の努力を惜しまず臨床、教育、研究に研鑽を積んで参ります。どうぞよろしくお願い致します。



初期研修医
眞鍋 啓

はじめまして。今年の3月に徳島大学医学部を卒業し、4月より回生病院で2年間研修させていただくことになりました。眞鍋啓と申します。

出身は香川県の綾川町で、御縁があつて地元で働くことができ大変うれしく思っています。まだまだ未熟者の私ですが、研修を通して多くの患者様と出会い、人としても成長したいと思っております。知識・技術共に至らない点も多々あるとは思いますが、皆様に信頼される医師を目指して日々精進していきますのでどうぞよろしくお願ひします。



初期研修医
徳永 奈己

4月より回生病院で勤務させていただくことになりました。初期研修医の徳永奈己と申します。

出身大学は徳島大学で、生まれも育ちも徳島

県なので、香川県での生活は初めてになりました。まだ坂出市に住み始めて間もないですが、穏やかでとても暮らしやすい良い所だと感じております。このような場所で初期研修の2年間を過ごすことができることを大変嬉しく思います。これから立派な医師になるために日々研鑽し、学んでいくとともに、この坂出のことについても沢山知っていきたく思います。



看護師

原 綾花

本年度から回生病院で勤務させていただきましたことになりました。看護師の原綾花と申します。

私は患者様と直接関わり、自分が患者様やそのご家族ならどのような医療を必要とされているかを考え行動できる看護師になりたいと思っています。この看護観は学生として実習を経験させていただいた中で、看護とは患者様の自分らしい生き方をサポートすることであると感じました。回生病院で実習をさせていただいた際に多忙な中、にこやかに患者様と接している姿や、看護師を信頼した患者様の様子から患者様との関わりを大切にされていると感じました。

今後、幅広い分野の中で質の高い看護を提供するために、患者様やそのご家族のためにとつてより良い医療につながる看護を実践できるよ

うに日々努力したいと思えます。どうぞよろしくお願ひします。



臨床検査技師

近藤 佳純

今年の4月から回生病院で勤務させていただくことになりました。臨床検査技師の近藤佳純と申します。

私は幼少期から持病により定期検査が必要だったため、臨床検査技師の仕事を間近で見る機会が多くあったことがきっかけでこの職業に興味を持つようになりました。臨床検査技師が提供する検査情報は医師が正確な診断や治療を行うために非常に重要なものであり、医療現場を支える一員として重大な役割を担っていることを学生時代に学び、さらにこの職業に強い魅力を感じました。このたび、地域医療支援病院でもあるこの回生病院で働くことができ大変嬉しく思っております。

まだまだ未熟で至らない点もありますが、一日でも早く皆様に信頼される臨床検査技師になれるよう精一杯努力していきたく思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。



理学療法士

公文 柚紀

今年の4月から回生病院で勤務させていただくことになりました。理学療法士の公文柚紀と

申します。

昨年、回生病院で実習させていただき、情報収集や患者さんとのコミュニケーションの大切さ、一人ひとりのニーズに合わせたリハビリを提供することの重要さなど多くのことを学ぶことができました。患者さん一人ひとりに寄り添い、責任をもち少しでも多くの「笑顔」を引き出せるよう、患者さんや多職種とのコミュニケーションを大事にしていきたいです。

知識、技術ともに未熟で至らない点が多々あると思いますが、信頼される社会人、理学療法士になれるよう一生懸命努力していきたいと思えます。皆様、どうぞよろしくお願いたします。



理学療法士

西種 徹

この4月から回生病院で勤務させていただくことになりました。理学療法士の西種徹と申します。

患者さんが笑顔でより良い生活を送れるように理学療法士として身体的な面できっかりとサポートし、信頼を築いていけるよう日々努力していきたいと思っております。

まだまだ未熟で至らない点もあると思いますが、貢献していけるよう精一杯頑張りますので、よろしくお願いたします。



作業療法士

木村 光広

この4月から回生病院で勤務させていただくことになりました、作業療法士の木村光広と申します。

私が高校に入学した時に母が脳梗塞で倒れ、その際に作業療法士が母のリハビリしている姿を見ました。その姿を見て、私は「こんな凄い作業療法士になりたい！」と思い、作業療法士への道を選びました。

専門学校3年生の時、県外の病院で実習させていただき、整形外科の楽しさやリハビリの行い方を勉強させていただきました。将来、整形外科のリハビリを行いたいと思いながら、就職先を探している時、学校の先生から回生病院を勧めていただきました。回生病院ではリハビリの技術や知識を増やし、認定作業療法士等の資格取得を目指して頑張っています。

これから患者様の安心安全を第一に考え、回生病院の一員として貢献していけるよう一生懸命頑張りますので、皆様よろしくお願致します。



医療事務

北分 志歩

本年度四月から回生病院で外来の事務として働かせていただくことになりました、北分志歩と申します。



医療事務

青木 理紗

私は、患者様に安心して回生病院に来ていただけるよう、診察までの手助けをさせていただきたいと思っております。患者様一人一人の不安に思っていることや疑問に思っていることに耳を傾け、一つでも解決できるように行動していきたいと考えております。受付から患者様の様子を常に確認し、何かあればすぐに駆けつけます。皆様に寄り添いながら信頼される職員を目指します。

まだまだ未熟で至らない点も多くあり、ご迷惑をおかけすると思いますが、一日でも早く回生病院の一員となれるよう努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

今年の四月から回生病院の医療事務として医療・福祉連携センターに配属となりました。青木理紗と申します。

患者さまの一刻も早い回復のため、少しでもスムーズに治療を受けていただけるように姿勢を大切にしていきたいと思っております。そのため、院内・院外の他職種との連携を迅速かつ臨機応変に対応していきます。また、職員の方や患者さまなどから信頼のおける医療事務になることを目指し、行動していきたいと考えております。

まだまだ至らぬ点も多々ありますが、回生病院の職員の一員として貢献していけるように、多くの知識を吸収し、日々の努力を重ねて参ります。よろしくお願申し上げます。

受診される方へ

次の症状がある方は、**受診前に**「**帰国者・接触者電話相談センター**」へご相談をお願いいたします。

- 風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続いている（解熱剤を飲み続けなければならないときをふくみます）
 - 強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある
- * 高齢者や糖尿病等の基礎疾患がある方は、上の状態が2日程度続く場合

*** 当院は、感染症指定医療機関ではありません**

*** 新型コロナウイルス検査を目的とした受診は、お断りさせていただきます**

〔帰国者・接触者相談センター〕

- ・ 中讃保健所 0877-24-9962
- ・ 西讃保健所：0875-25-2052
- ・ 小豆保健所：0879-62-1373
- ・ 高松市保健所：087-839-2870
- ・ 東讃保健所：0879-29-8261

院内感染対策のため、職員がマスク・手袋・エプロンなどを着用し、診療やケアをすることがあります。感染症を疑う症状がある場合、一般の診察室と違う場所で診療する場合があります。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。なお、今後の県内の状況等を考慮して対応が変更となる場合があります。その際は、HP又は、院内掲示物にて周知いたします。

回生病院 病院長